

＼言いたいことをきちんと伝える／ ～もっと“伝わる”言葉の整理術～

- 言葉の持つ力を理解し、その効果的な使い方が身につく
- 「伝える」と「伝わる」の違いが分かるようになる
- 単なる“伝達”ではない、“相互理解”のための会話ができるようになる

相手との会話において大事なのは、「上手く伝える」こと以上に、「分かりやすく伝える」ことです。上手く伝えることも必要ではありますが、ただ単に“理解”できるだけでは、相手からの興味や、それに伴う行動を引き出すことには繋がりにくいものです。人は“理解”の上に“納得”が乗り、そこに“共感”が生まれてこそ分かり合うことができ、そこから一歩進んだ関係づくりにつながっていきます。

心をしっかりと相手に向け、“相手が聴きたいこと”を“分かりやすく”伝えること。その意識が姿勢を変え、言葉を変え、関係性を変えていきます。この研修では、言葉の使い方を中心に、「伝わる」そして「共感を生む」表現力を高めていきます。



2024年
日時 11月19日（火）
14:30～16:30
（受付：14:15～）

会場 白河市立図書館
地域交流会議室 中会議室

お申込み

裏面のお申込書または申し込みフォームに必要事項を記入のうえお申込みください。



E-ComWorks 株式会社
山本 衣奈子氏

伝わる表現アドバイザー／プレゼンテーション・プランナー／
産業カウンセラー／認定心理士



高校時代から演劇に没頭し、大学在学中にロンドン大学に演劇留学。コミュニケーションの根幹は“表現”と“届け方”であることに気づき、「演じる」と「伝わる」こととの関係性に注目するようになる。卒業後はその関連性を実社会で検証すべくサービス業から接客、受付、営業、秘書、クレーム対応等の業務にて30社以上に勤務。職場という舞台において、“伝えたい相手に伝えたいことをきちんと届ける”ための方法を模索し、円滑でスムーズなコミュニケーションの極意を見いだす。その後、「伝えると伝わるは違う」という当たり前が忘れかけられている現状を変えるべく、研修講師になることを決意。表現力だけでなく、様々な現場で身につけたトラブル対応力と対人能力、クレーム対応で培った傾聴力やVIP対応で体得したマナー術等を駆使し、「伝わるように伝えるコミュニケーション」方法を確立、全国に伝え続けている。

内容

1. 分かりやすい話し方・話の組み立て方を考える
2. 相手の立場に立った表現法を身につける
3. 膨大な数の言葉の中から、より伝わる&響く言葉を的確に選び、使えるようにする

言葉は、単なる文字情報ではなく、コミュニケーションにおいて大きな役割を果たしているのです。その使い方次第で、結果や成果だけでなく、関係性や信用・信頼など、様々なことが大きく変わっていきます。ここでは、言葉の力を最大限にプラスに活かすために、自分の中にある言葉の引き出しを整理して、言葉を味方につける方法を学んでいきます。



お申し込み・お問い合わせ

一般社団法人産業サポート白河（しらかわ5Sの関 事務局）

TEL/FAX：0248-21-8995

メール：k.yoshida-sunport@topaz.ocn.ne.jp（担当：吉田）



申込フォーム

言いたいことをきちんと伝える ~もっと“伝わる”言葉の整理術~ 参加申込書

申込書にご記入のうえ、メールまたはFAXでお送りください。WEBフォームからもお申込みいただけます。

一般社団法人産業サポート白河（しらかわ5Sの関事務局）

FAX：0248-21-8995

メール：k.yoshida-sunport@topaz.ocn.ne.jp（吉田）



申込フォーム

締切日：2024年11月12日（火）

申込日

2024年

月

日

事業所名		
ご住所	〒 -	
業種		
TEL・FAX	TEL:	FAX:
参加者1	ふりがな 氏名	
	所属・役職	
参加者2	ふりがな 氏名	
	所属・役職	
ご連絡担当者		
連絡先 メールアドレス		
事前質問（ご質問がございましたらご記入ください）		

※ご記入いただいた個人情報は、上記の利用目的のみに使用し、第三者に提供することはありません。

※定員を超過した場合、しらかわ5Sの関会員企業を優先させていただくため会員外からのお申し込みに関しては申し込み順に係わらず人数の調整をお願いする場合がございます。あらかじめご了承ください。